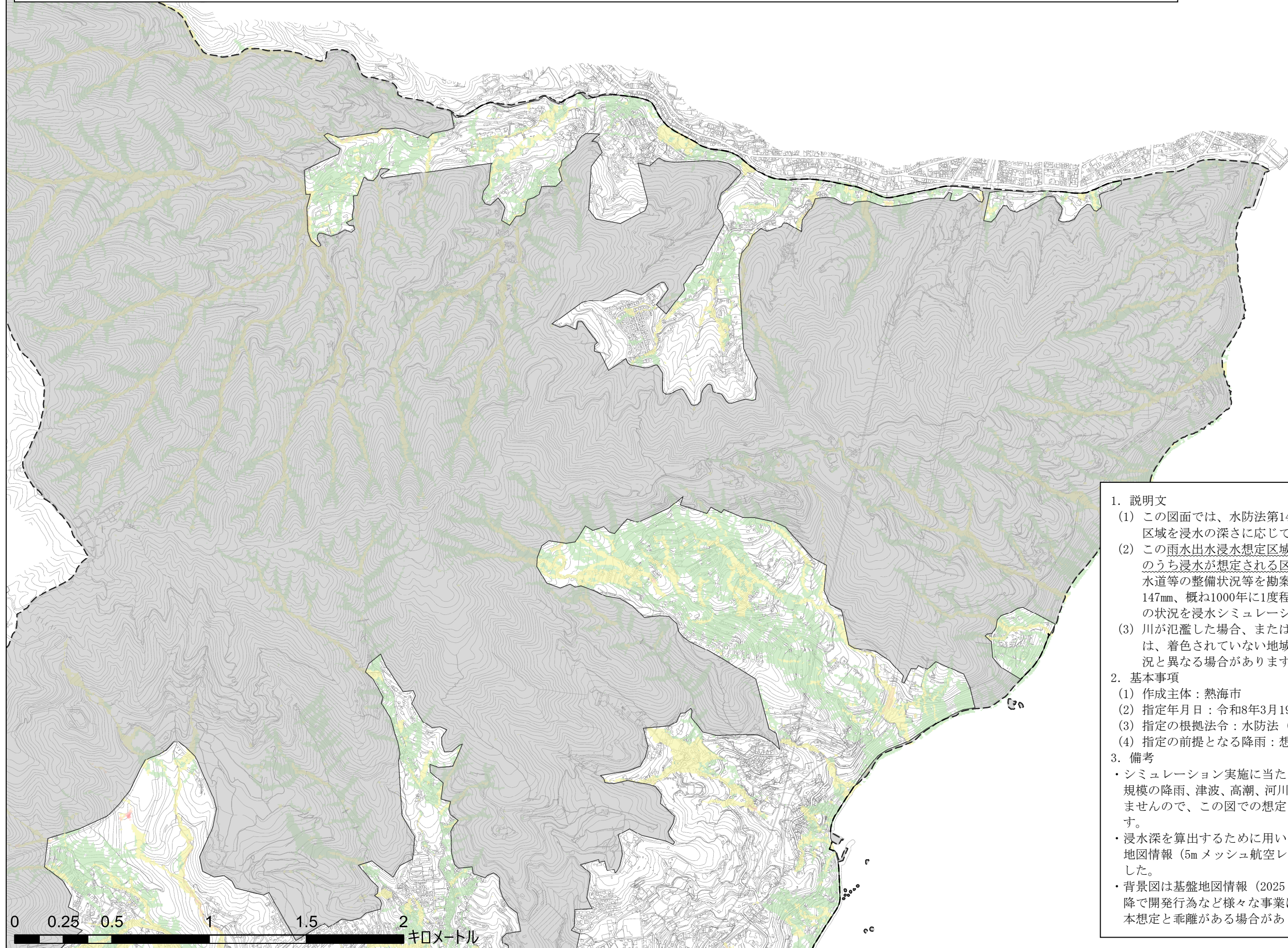


泉地区・伊豆山地区 雨水出水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）



凡例

--- 熱海市行政区域界
□ 下水道全体計画区域

最大浸水深

20m ~
10m ~ 20m
5m ~ 10m
3m ~ 5m
1m ~ 3m
0.5m ~ 1m
0.3m ~ 0.5m
~ 0.3m

1. 説明文
(1) この図面では、水防法第14条の2の規定に基づく雨水出水浸水想定区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。
(2) この雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（黒枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しており、市内の下水道等の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨（1時間雨量147mm、概ね1000年に1度程度の降雨）により想定される内水氾濫の状況を浸水シミュレーションにより想定したものです。
(3) 川が氾濫した場合、または土地利用や雨の降り方などによっては、着色されていない地域で浸水が発生するなど、実際の浸水状況と異なる場合があります。

2. 基本事項
(1) 作成主体：熱海市
(2) 指定年月日：令和8年3月19日
(3) 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2
(4) 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量147mm）

3. 備考
・シミュレーション実施に当たっては、指定の前提となる降雨を越える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
・浸水深を算出するために用いている地盤の高さは、国土地理院の基盤地図情報（5mメッシュ航空レーザ測量、2025年6月更新）を使用しました。
・背景図は基盤地図情報（2025年7月更新）を用いています。更新日以降で開発行為など様々な事業により建物、道路の配置が変わった場合、本想定と乖離がある場合があります。

